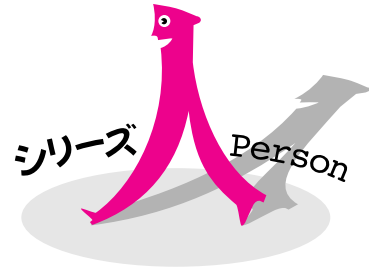




「C級審判員なら年1回の講習でなれます。みんなで盛り上げましょう」

日本雪合戦連盟公認審判員

かとう かつみ
加藤 勝美さん(61歳)



寒い冬にホットな戦い 雪合戦はスポーツです

雪国の子どもたちの遊びとして親しまれる雪合戦が、冬場の屋外スポーツとして各地で楽しまれています。縦三十六び、横十びのコートで、フォワード四人、バックス三人でチームを組み、一セット三分、九十球の雪玉を使えるなど、ルールも本

格的に定められています。加藤勝美さんは、県内で六人、市内では一人しかいない日本雪合戦連盟B級公認審判員。競技としての雪合戦の普及に尽力しています。一セット三分の間にただ雪玉を投げるだけでなく、

雪玉を投げる人、渡す人というように役割を決めるなど、いかに有効に玉を投げることかという頭脳プレーも必要です。投げる人は素手のほうが絶対コントロールがつかますよとアドバイス。雪のコンディションによつては直径六・五センチ七つの雪玉が氷のように固くなることもあり、ヘルメットは必ず着用します。「子どもの頃、雪玉を当てられただけでも熱くなつたのに、勝敗が絡むと大人も子どもも力が入ります。それに周りに観衆がいると、また燃えるんですよ。」市内では、小学生を対象にした大会も開かれます。学校対抗だけでなく、学年別、クラブ別と分けて、みんなが楽しめるように工夫されています。「子どもたちには特に、冬に屋外で体を動かすことの楽しさ、雪合戦の魅力を実感してもらいたいです。大人も競技に参加して、子どもたちが外で遊べる機会をつくって、雪合戦を盛り上げてほしいですね。」冬の青空の下、汗を流して雪合戦。そつ快ですよ！

寒さなんかへっちゃらさ！

子ども雪合戦交流大会



2月17日(日)午前9時~午後1時 市民広場(中央公民館隣り)

先着25チーム(市内の小学生で構成する1チーム9人)

申し込みは2月5日(火)まで、各公民館にある参加申込書に記入して提出してください。参加無料。

雪合戦に必要な道具やヘルメットなどは準備しています。手袋、防寒具はお忘れなく。

申し込み

中央公民館 ☎(824)5377
土崎公民館 ☎(846)1133
東部公民館 ☎(834)2206
西部公民館 ☎(828)4217
南部公民館 ☎(832)2457
北部公民館 ☎(873)4839



36び×10びのコート内で、1チーム7人で競技3分間の試合を3セット行い、2勝したチームが勝ち

1セット90球の雪玉を相手に当てアウトにする相手全員をアウトにするか、相手コートに4人以上が入るか、相手コートのフラッグを取ったら勝ち